

大阪商業大学高等学校「校友会だより」

平成 23 年

(2011 年)



# 校友会誌

第 10 号

新年度を迎え、コース制・共学化を実施して 9 年目になる。女子生徒も年々増加し全体の 2 割を越え、学校全体が明るくなり活気がみなぎっている。生徒数もここ数年増加の一途をたどり、新しい環境作りに向けて、昨年の夏より待望の『新校舎建築』が着工の運びとなった。中庭に工事の音は鳴り響くものの授業に

## 新しい時代の到来！ “新校舎，建築途上”

は差し支えのないように工夫され、着々と出来上がりつつある。

新校舎は 4 階建ての勇壮な建築美を誇り、1 階は職員室と事務室など、2 階・3 階は教室。そして、4 階には長年の念願であった 400 名を収容できる

「多目的教室」がこの夏に完成する。同時に本館の耐震・改装工事も引き続き行われ、新しく駐車場も設置されることになっている。まさに母校の「新時代到来」を予感させ、将来の繁栄を象徴するべく「新校舎建築」、母校が名実ともにさらなる発展することを期待する。



新校舎完成予想図

編集・発行

大阪商業大学高等学校 校友会

発行責任者：会長 岡田 誠一

編集人：副会長 宮原 健

事務局長 田中 修

題 字：魯 光 宮 (虎谷 年晴)

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10

TEL: 06-6781-3050 FAX: 06-6781-8972

振替口座：大阪 00960 = 5 = 67967

口座名称：大阪商業大学高等学校校友会

### 誌面ご案内

会長・学校長あいさつ	2
歴代校長先生・卒業生進路状況	3
大学進学状況・学校名の変遷	3
第 81 期生 263 名 校友会会員に・卒業生数の累計	4
会員寄稿文	6
平成 22 年度 校友会総会	10
平成 21 年度 事業報告・会計収支報告	10
平成 22 年度改選 役員一覧表	10
総会風景・懇親会風景	11
特別寄稿 アメリカ・カナダ修学旅行	12
2010 年度 クラブ実績・簿記検定合格者数一覧表	13
デザイン美術コース コンペ受賞一覧表	14
賛助広告	14
学園要覧	18
校友会活動賛助金・賛助広告のお願い	19
役員への要請・校友会誌の原稿募集	19
平成 22 年度 賛助金・賛助広告協力者芳名	19
平成 23 年度 校友会総会のご案内	20

校友会の公式ホームページ

URL <http://kouyuukai.org>

下記でもアクセスできます

kouyuukai.org

検索

クリック

## 「校友会総会を迎えて」

校友会会長 岡田 誠一



母校の卒業証書授与式・入学式では我々校友会の席も用意され、旅立つ後輩達、若く初々しい新入生と、父母の皆さんとも席を共にする場も用意され、青春の息吹を共有する機会に恵まれています。

校友会の皆さんも共に出席しましょう。今年の卒業証書授与式では、久々にブランバンドの伴奏で「校歌、海はさんらん大大阪の……」を大声で歌う事が出来、卒業以来半世紀近くの時間、空間を越え、青春を取り戻した想いでした。

私にとってブラスバンド部は、高校生時代の三年間、夢中で明け暮れたフィールドであり、青春そのものだった。

我々の時代に、入学式・卒業式が行われた大講堂が、今尚、谷岡記念館として遺されています。校門にあった石造りの門柱も昔のまゝで、我々を迎えて青春をよみがえらせて呉れます。

校友会総会の機会に、それぞれ自分達のクラブや同期会の集いの為の相談をし、開催の企画をしていただき、青春時代の仲間達との出会いの場を再現して頂ければ幸いです。

役員会では、精いっぱいバックアップ出来る体制の構築に努力したいと思います。



吉川則比古先生記念文学碑

## 「校友会総会開催を祝して」

母校校長 大塚 信一



校友会の皆様におかれましては、ますますご清栄にして、ご活躍のことと心からお喜び申し上げます。

日ごろのご協力・ご支援にお礼を申し上げます。

本校は、「世に役立つ人物の養成」を建学の理念として掲げ、その現代

的解釈の四つの柱 ①思いやりと礼節 ②基礎的な実学 ③柔軟な思考力 ④楽しい生き方 にもとづいて教育活動を展開しています。

グローバル商大コースの共学化は、地元を中心に『共学化』『地域に根ざした商大高校』が好意的に受け入れられ、本年4月には、第84期生として定員を超える新入生を迎えることができました。

これも、2万7千名を超える卒業生の皆様が、社会の各分野でご活躍されていればこそと感謝しています。

昨年7月に着工しました、新校舎建設が今年の7月に竣工予定です。また、本館の耐震・改装工事も引き続き行い、9月に完成予定です。皆様方が見慣れた、本館三角階段も撤去され、新しい環境でのスタートとなります。校友会の皆様もぜひ学校訪問していただき、新しい環境の見学などをしていただきたいと思います。

共学化にともない学校生活の満足度をさらにアップしていくために、

- ① 学習環境、設備施設の改善
- ② カリキュラムの改善
- ③ 元気で笑顔の絶えない学校
- ④ 挨拶で溢れる学校

を目指した取り組みをさらに進めていきたいと思っています。

不登校生への指導の取組みとして、教室外(カウセリングルーム)での教科指導に着手し、不登校生21名中12名の指導を行うとともに、支援を要する生徒への指導も行っています。

卒業生たちは、次のような実績を残しました。

進学実績としては、大阪商業大学・神戸芸術工科大学の系列大学をはじめ、引き続き関西大学、立命館大学、龍谷大学、近畿大学、桃山学院大学への進学者を出しま

した。プログレスコースでは、3年間の学習でSS10ポイント程度のアップを勝ち取っています。

クラブ活動では、バレーボール部の春の高校バレー出場、柔道部の全国高校選抜大会出場、ゴルフ部の全国選手権個人・団体出場と大活躍です。

デザイン美術コースでは、昨年引き続き「世紀のダ・ビンチを探せ」高校生アートコンペティションで入賞、「エコ・アートフェスタ大阪 2010、ゴミアート甲子園」ペットボトル部門で準グランプリ受賞、全日本高校デザイン・イラスト展入賞、全国合板一枚作品コンペジュニア部門優秀賞など、さまざまな実績を上げています。

附属幼稚園との協力授業、バリアフリー体験授業などの取組も進めています。

資格取得では、英語検定準2級、情報検定1級、簿記検定1級など多数の合格者を出しています。

私たちは、諸先輩が築いてこられた、よき校風や伝統を継承しつつ、益々の充実と更なる発展飛躍を達成するために、教職員一同日々の教育活動に精進しております。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健勝と、校友会のますますの発展をお祈り申し上げて、ご挨拶といたします。

■ 歴代校長先生 (敬称略)

初代	谷岡 登	昭 3. 4. 1 ~ 昭 13. 3. 31
2代	山田 楊之助	昭 13. 8. 20 ~ 昭 14. 5. 10
3代	竹谷 辰郎	昭 14. 11. 2 ~ 昭 18. 3. 11
4代	谷岡 拓磨	昭 18. 3. 12 ~ 昭 23. 3. 31
5代	谷岡 登	昭 23. 4. 1 ~ 昭 24. 3. 31
6代	谷岡 拓磨	昭 24. 4. 1 ~ 昭 42. 3. 31
7代	谷岡 太郎	昭 42. 4. 1 ~ 昭 44. 8. 31
8代	小林 得一郎	昭 44. 9. 1 ~ 昭 54. 3. 31
9代	湯原 俊雄	昭 54. 4. 1 ~ 昭 61. 3. 31
10代	柴田 巖	昭 61. 4. 1 ~ 平 4. 3. 31
11代	久間田 博幸	平 4. 4. 1 ~ 平 9. 3. 31
12代	中山 次郎	平 9. 4. 1 ~ 平 12. 3. 31
13代	厚母 眞一	平 12. 4. 1 ~ 平 16. 3. 31
14代	尼子 東吉	平 16. 4. 1 ~ 平 20. 3. 31
15代	大塚 信一	平 20. 4. 1 ~

■ 平成 23 年 3 月卒業生進路状況

(3月10日現在)

進路状況	合格	割合
4年制大学	198	75.3%
短期大学	5	1.9%
専門学校など	35	13.3%
就職	12	4.6%
その他未定(含浪人)	13	4.9%
卒業生総数	263	100.0%

■ 大学進学状況 (含 浪人)

(3月10日現在)

大 学 名	合格数	大 学 名	合格数
大阪商業大学	64	プール学院大学	1
神戸芸術工科大学	5	関西福祉科学大学	1
立命館大学	3	帝塚山大学	6
関西大学	2	奈良大学	4
龍谷大学	6	常磐会大学	1
近畿大学	6	甲南女子大学	1
京都産業大学	1	東京農業大学	1
日本大学	1	創価大学	1
京都外国語大学	3	流通科学大学	1
関西外国語大学	3	金沢工業大学	1
大阪工業大学	3	関西医療大学	1
桃山学院大学	15	大阪大谷大学	1
追手門学院大学	6	京都嵯峨芸術大学	1
大阪学院大学	4	成安造形大学	1
大阪芸術大学	6	酪農学園大学	1
大阪経済大学	4	4年制大学合格数小計	209
大阪国際大学	1		
大阪産業大学	6	短期大学名	合格数
大阪電気通信大学	4	大阪産業大学短大部	2
四天王寺大学	26	東大阪短期大学	1
佛教大学	1	大阪芸術短期大学部	1
天理大学	1	近畿大学短大部	1
相愛大学	1	短期大学合格数小計	5
森ノ宮医療大学	1		
摂南大学	7		
阪南大学	6	大学合格数総合計	214

※ 系列大学 = 大阪商業大学・神戸芸術工科大学

■ 学校名の変遷

昭 3. 4. 1 ~ 昭 24. 3. 31	大阪城東商業学校
昭 19. 4. 1 ~ 昭 20. 9. 30	布施工業学校
	(第1本科 1~3年, 第2本科 1・2年)
昭 23. 4. 1 ~ 昭 24. 3. 31	城東高等学校
昭 24. 4. 1 ~ 昭 27. 3. 31	大阪城東大学附属高等学校
昭 27. 4. 1 ~ 平 4. 3. 31	大阪商業大学附属高等学校
平 4. 4. 1 ~	大阪商業大学高等学校

## 第81期生263名 校友会会員に



平成22年度第81期生の卒業証書授与式は、本年2月19日(土)快晴の良き日に、母校体育館において挙行された。

体育館の中心に向かって西側のステージを背に当日の主役である卒業生席が、北側の中央に金屏風を背に演壇が設えられ、向かって左に校長をはじめ管理職席と右側に来賓・PTA役員・商栄会席(PTA OB会)が、東側に保護者・校友会役員席が、南側に教職員席といった配置であった。

定刻前に学級担任の引率によって当日の主役である卒業生たちが胸にコサージュを付け1組より紅白の幕が張られた会場に入場し、保護者の前に横一列になって一礼の後自席に着席した。

堀井純教頭先生の司会で開式に先立って来賓の方々が紹介され式が始まった。

はじめに、教務主任の宮本高志先生より学事の一部が報告された。



本年度の卒業生は、昭和7年3月、旧制大阪城東商業学校の第1期卒業生から通算して第81期生で、昭和24年3月新制高等学校の第1期から数えて第63期生にあたる。卒業生総数は、27,679名に上った。

また、平成15年度から普通科にコース制が採用され、共学制が発足して6回目の卒業証書授与式にあたり、女子生徒も今年卒業した17名に定時制時代の26名を加えて133名に上った。

次に、ヴィヴァルディ作曲の協奏曲「四季」をBGMとして流される中を担任教諭から卒業生の氏名が読み上げられ、自席に起立して各クラス毎に代表者がセンターに設置された演台上で学校長大塚信一先生から卒業証書が授与された。

学校長の式辞に続いて、来賓の谷岡学園理事長・大阪商業大学学長谷岡一郎先生の祝辞、PTA会長森谷泰宏氏からの励ましの言葉が述べられた。



谷岡学園理事長 谷岡一郎先生

次に、在校生代表からの「在校生お祝いの詞」を紹介する。

### 「在校生お祝いの詞」

在校生代表 2年8組 川見 駿行

3年生の諸先輩方、ご卒業おめでとうございます。

先輩方の晴々しいお顔を見て、私どもの心も晴れやかですがお世話になった先輩との別れはやはり寂しいものです。

学園祭や部活で大変お世話になり、厳しくも心温まる温情を忘れる事はありません。在校生一同そんな先輩方に負けず心機一転益々頑張ることを誓いますので、何卒ご安心いただければと思います。

これから、大学ならびに社会人として巣立っていく皆様においては、今日のような晴れがましい期待と、新しい世界の旅立ちに不安もあるでしょうがこの3年間を通し、学校で学んだことを礎にすれば、必ずや不安が期待に期待が現実に、夢が叶うと確信いたします。私たちがそうですが決して夢をあきらめないで下さい。夢を持たない人で今まで成功した人はいないと申します。

幾多の苦勞が待ち受けているかも知れませんが、苦勞という影が濃くあればあるほどそれを映し出す光が強いと申します。決して苦勞から逃げることなく正面からぶつかってそれを乗り越えて下さい。

僭越な送辞になってしまいましたが、これまでに育ててくださった先輩への感謝とお礼の気持ちです。今まで大変お世話になりました。また、くれぐれもお身体は大切にして下さい。

本日はご卒業おめでとうございます。

続いて、卒業生代表から「卒業生お礼の詞」が述べられた。全文を紹介する。

### 「卒業生お礼の詞」

卒業生代表 3年6組 今西 哲也  
3年6組 前川 竜壘

本日は私たちのために、このような素晴らしい卒業式を開いていただいたことを、卒業生一同を代表して、厚くお礼申し上げます。

本日、ここに卒業を迎えることが出来たのは校長先生をはじめ、学内の教職員の方々のおかげであることは言うまでもありません。



気がつけばもう卒業といった感じもありませんが、私たちにあって大商大高校での三年間は、とても充実したものでした。

実に多くの人々と出会い多くのことを学びました。それらの仲間は私にとって一生の宝です。

あって当然の日々の授業も受けられなくなった今、先生方には様々なことを教えていただいたなあ、改めて気づかされました。おそらく、これから「あの時先生が言いたかったのはこういうことだったのか。」と気づいていくでしょう。

後輩の皆さんは、こうした先生との貴重な授業をはじめ、雑談、ムダ話、暴露話や人生の苦勞話を聞き漏らさずに、心にとどめておくことをお勧めします。きっと将来役に立ちます。

事務室のみなさん、職員の皆さんにも感謝しています。そのほかの先生方にも様々な方面にわたり、学校生活を支えていただき、ありがとうございました。

さて、私たちの今の社会には、かつてないほど多くの問題があふれています。そのような社会で、いったい自分が何に価値を置くのかについて、自分なりに答えを出すことが、私たちに求められています。自らが問題を見出し、その答えを忍耐強く求めていくこと、すなわち「未来に希望を見出すこと」が今の私たちに必要であると思います。

私たちは、これから別々の道を歩むこととなりますが、希望と理想を胸に様々な諸問題を乗り越え、商大高校で学んだ建学の理念「世に役立つ人物」を目指して行きたいと思っています。

最後になりましたが、今日まで私たちを見守ってくれたお父さん、お母さんにお礼を述べたいと思います。家や学校で色々なことがありましたが、私たちをここまで育てていただいたこ

とは、今になってみると感謝の気持ちでいっぱいです。そのありがたさに今まで気づかないことばかりでした。まだ暫らくは迷惑をかけますが、早く恩返しができるよう一生懸命がんばりますので、どうかよろしくお願いします。今までありがとう。

さあ、いよいよ私たちは、この学校を巣立つことになりました。その先に広がる厳しい社会の中で、様々な試練が待っています。しかし、どんな状況の中でも「前へ、前へ」着実に前進していきたいと思ひます。

そして、いつの日か、未来の子どもたちに向かって、自分の人生について、誇りをもって語れるような日が来るとを願って、私たちのお礼の詞といたします。

最後に、実に約 30 年ぶりになる吹奏楽部の伴奏による校歌を斉唱して式は滞りなく終了した。



卒業生は、PTA 役員や商栄会、校友会役員、卒業生の保護者の皆さんや教職員の手拍子に乗って、全員爽やかな顔をして式場を後にした。教室では、最後のホームルームで、それぞれの健闘を祈りつつ再会を誓い合ったことでしょう。

素晴らしい卒業証書授与式に参列して、若い人たちのパワーを吸収し、爽やかで晴れ晴れした一日であった。

(文責 宮原 健)



◎ 卒業者数の累計

第 81 回 卒業証書授与式 平成 23 年 2 月 19 日現在

学 校 名	全 日 制			定 時 制		合 計		累 計
	商業(男)	普通(男)	普通(女)	商業(男)	商業(女)	男子	女子	
大阪城東商業学校(旧制) 昭 6 年度～昭 25 年度	2,735			1,339		4,074		4,074
城 東 高 等 学 校(新制) 昭 23 年度	16					16		4,090
大阪城東大学附属高等学校 昭 24 年度～昭 26 年度	206	84		139		429		4,519
大阪商業大学附属高等学校 昭 27 年度～平 3 年度	5,875	10,970		591	26	17,436	26	21,981
大阪商業大学高等学校 平 4 年度～平 21 年度		5,345	90			5,345	90	27,416
<b>平成 22 年度(第 81 期生)</b>		<b>246</b>	<b>17</b>			<b>246</b>	<b>17</b>	27,679
小 計	8,832	16,645	107	2,069	26	27,546	133	
合 計		25,584		2,095		27,679		

※ 大阪城東商業学校の 全日制商業科＝第 1 本科、定時制商業科＝第 2 本科 と読み替える。

附属中学校は、昭和 30 年 4 月以降、生徒募集中止。  
旧制商業学校・高等学校・中学校の 総計 28,850 名

大阪商業大学附属中学校	昭 22 年度～昭 31 年度	1,171
-------------	-----------------	-------

# 会員寄稿文

## 「在学中の授業料と敗戦後のインフレーション」

第21期(昭26年卒) 澤 邑 知 明

今年は商大高校(当時、城東高等学校)卒業から満60年、1951年(昭和26年2月)に卒業した私。“卒業の還暦”を迎え78歳を過ぎました。

お蔭さまで、今日まで大きな病気もせず、現在も風邪ひき以外は治療薬等々も服用せず、ドクターストップも無く、甘・辛・酒・煙草と元気に毎日を過ごさせて戴き、(ある友達に話すと「阿呆に付ける薬は無い。」と嗤われたのでそれ以降あまり言わないことにしている。)健康な私を産んでくれた今は亡き両親をはじめ、幸いにも多くのよき友にも恵まれ「何事も云うべきことはなかりけり ただにこにこと わらうばかりぞ」と感謝・感謝の日々を送らせてもらっています。

拙文も回を重ねて、いよいよ材料も無くなり、いい加減に恥をかくのも止めようと思ったのですが、今年は丁度“卒業の還暦”の年に当たるので何か無いかと押入れ棚を整理していたところ、明治生まれであった親父が残して置いてくれた書類箱の中に、我が母校の中学・高校の卒業証書や授業料の領収書類が出てきたので、敗戦直後のインフレ【物価水準の上昇・通貨の膨張】がどの様であったのか当時の学費について(昭和20年入学時の入学金とか、第1回目の授業料の領収証は見当たらなかったが、確か桁が十円台であったと記憶しているのですが。)当時を見てみようと思つたところ、全部では無かったが残っていた其のうちの一部を以下に並べて比較してみました。

(単位 円)

	授 業 料	校友会	同窓会費	父兄会	教材費	生徒会費	校 費
S. 21年 5月15日	130.	10.		20.	10.		
S. 21年 9月2学期	220.	10.		20.	10.		
S. 22年 4月1学期	220.	30.		50.	後援会費 50.		
S. 22年 9月10日	440.	60.		100.	60.		
S. 22年 6月	1 学期追加 170.						
S. 22年11月	2 学期追加 200.						
S. 23年 4月22日	1 学期 1,500.	60.	30.				
S. 23年 9月	2 学期 1,800.		50.			100.	200.
S. 24年 5月 4日	1 学期前期 1,500.	60.				150.	
S. 24年 6月22日	1 学期後期 1,200.	100.				150.	
S. 24年 9月	2 学期前期分 1,400.		50.			150.	200.
S. 25年 1月	3 学期分 1,900.		50.			150.	100.
S. 25年 5月	1 学期前期分 1,500.					150.	100.
S. 25年 6月	1 学期後期分 1,200.						100.

S. 21年頃は総てが敗戦直後の不安定な時期で(主食の遅配をはじめ停電、断水、ガスのストップ等)職員厚生資金1ヶ月¥10. 製パン設備費¥10. 研修費¥50. など、若干、先生方の救済資金的な意味の判りにくいものもあったが、3年程で如何に急激なインフレ(inflation)が酷かったか今更ながら驚愕しているところである。

総ての物資不足の中、闇市では金を出せば有る程度の品物(主に衣・食類)は賄えるが、我々貧乏な家庭では懐が寂しく毎日では息の根が止まってしまう。収入が急激に上がる筈もなく、当時の親も生活に大変だったろうと思う。ついこの間ま

で五銭・十銭で買えた物が百倍の五円・十円単位に値上がりしているのだから。しかし、あちこちの(布施・鶴橋・上本町・京橋・梅田等々)闇市では大繁盛していた。(昨今ではデフレスパイラルが問題化しているが。)

S. 14~5年の頃、我々貧乏人の子供の頃の小遣いは一日に一~二銭で、当時の駄菓子屋や紙芝居、焼きいも、行商人が持ってくるワラビ餅等々一銭。キャラメル箱入り五銭、祭りや夜店・縁日の小遣い銭も五銭位貰うのがやっとであった。

「僕は軍人大嫌い今に小さくなったなら お母ちゃんに抱かれて乳飲んで一銭貰って<sup>あめ</sup>飴買いに。」これは「僕は軍人大好きよ 今に大きくなったなら勲章付けて剣提げてお馬に乗ってハイ・ドウドウ。」の替え歌であるが小学生の間で流行っていた。(当時は国賊の歌だと批難されていた。)

確か、S. 16~7年頃だったと記憶しているが、ある日、紙袋の落し物を拾って開いて見ると四十数円が入っており、吃驚して兄に話し直ぐに交番所に2人で届けに行った。その夕刻、巡査が「落とし主が判ったので交番所に来てくれ。」との事で一緒に交番所へ行つたところ落とし主は女性でその金は女性の(月給)だったらしく、大変喜ばれて謝礼として二円貰ったことがあり、兄が一円五十銭、私が五十銭貰い大喜びで子供友達と無駄遣いした記憶が浮かんできた。

当時の庶民の月給は月平均五十~七十円位だったらしく、その女性の月給も<sup>うなず</sup>領ける。帝大(当時の国立大学)を出られたある先輩は当時“三桁になって嫁貰い”即ち百円台になって“結婚”と言われたという話を戦後暫くして聞いたことがあった。母方の親元がタバコ屋だったので小学生の頃、幾度か店番をした事があったが、銘柄のゴールデンバットが確か六銭だったと頭に残っている。駄賃に二銭貰って祖父母の向かいにあった回

転焼き屋などで買い食いをして記憶も甦つてきた。当時はまだ、半銭硬貨・五厘銭硬貨も通用していた。(まだ手元に持っているが。)

余談になりますが、戦時中、{千人針}が流行っていた。これは、兵隊に行かれる男性に“武運長久”を祈って[死線(四銭)を超えて五銭・苦戦(九銭)を越えて十銭と縁起を担いで五銭硬貨・十銭硬貨{今の五円硬貨のように中に穴が空いて

いる}を、日本手拭に豆絞りの様な小さなしし{点}が数多く付けてあり、その点の所に糸で結び目を付けてもらうのだが、婦人会の方々が街角に立って行き交う女性に呼びかけ、一人一<sup>しし</sup>印のあるところに針に通した糸で“結び”をつけてもらって、“千人の力”を得たと出征兵士に力付ける“お守り”として戦士となられる男性の肌身につけてもらったものです。今で言うお賽銭で、お寺には十円(遠縁・十円)で、お宮さんには五円(ご縁・五円)が有りますように、といった縁起であるが。

ご存知の“算盤”。上の段(五玉と言うのか、正式な名称は忘れた)と下との間に区切りがあり、そこに三桁毎に・印が付

いてあるのお気づきと思いますが、戦時中我々小学生の使っていた算盤には四桁目に・印が付いていた。これは、我が日本では、一・十・百・千・万・億・兆と単位の呼び方があり、一の次は万、次は億、次は兆と判り易い様に付けられていたのですが、会計の帳簿等でご存知の様に三桁目にやや太い縦線が引かれております。これは、あちらでは三桁目が丁度サウザント(千)、ミリオン(百万million)、ビリオン(十億billion)で国際的として優先された為なのか、和算的な四桁は姿を消してしまっ

余談のついでに、S. 26年高校を出て、入社当時の初任給は、本俸二千元、諸手当五千五百円、締めて七千五百円。一年毎に定期昇給が四百円。税金や諸経費を引かれると残りは僅か。夏まで学生服で通勤していた。当時は、トリスのハイボール・スタンドでハイボール一杯五十円。給料の安さを同級生の友達などに話すと良い方だとの事。スーツは昨今の様に既製服は非常に少なく、殆んどオーダーで我々は洋服資金として共済組合に《約束手形》を書いて二万円を借りて毎月千円ずつを返済し、20ヶ月で終われば2着目で又借金していた事も思い出した。革靴は三千元位、鞆も三千元位、と現在に比較して高値であった。S. 32年頃に三万九千八百円のカメラを月賦で買ったが、毎月千円、約4年掛って返済。先日、日本年金機構(元の厚生省)から送付されてきた資料に目を通し、当時の厚生年金の標準報酬月額が一万六千円、結婚した頃の標準報酬月額も一万八千円でありカメラは当時の月給の約2.5倍(手取りでは無く支給額)、ひもじい生活を余儀なくさせられていた。

(近年は精密機器の時計や光学機器のカメラ等は今や家電店で扱われ、その他の家電製品【先日の新聞では自家用車まで】なども現在のほうが可成安く、物によっては当時は、如何にインフレが大きかったか。)

確か、S. 30年前後であつたと記憶するが“円”以下切り上げとなり、今までの単位の“銭”が通用できなくなり、例えば預金・貸金等の一銭~九十九銭までの金額については総て一円に切り上げられ最小通用通貨単位が“一円”となった。銀行に勤めていたので預金や貸付残高総ての口座を調べ、手作業で遅くまで掛かって切り上げ作業をした苦い思い出が頭をよこぎった。(まだ、昨今の様にコンピュータが無い時代。昭和40年代にはじめて銀行にコンピュータが入りかけ、総ての切り替え作

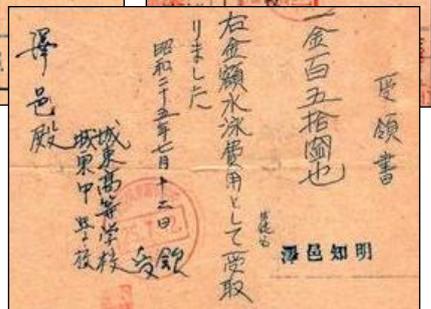
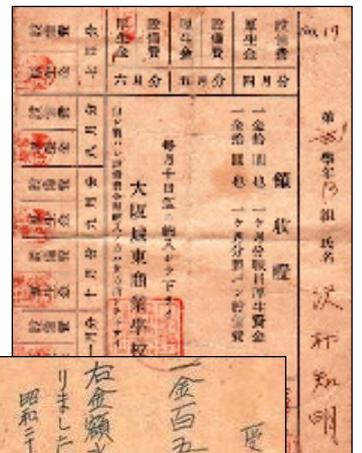
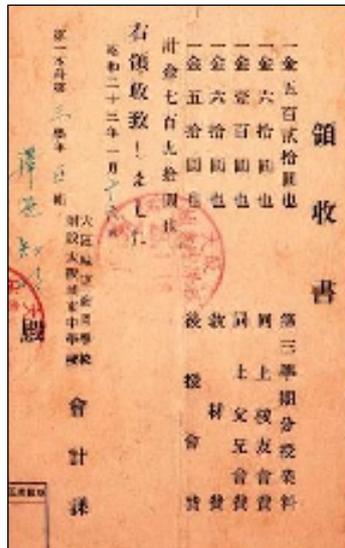
業が終わったのは50年頃。)

ちなみに、ご承知の如く、戦前為替相場で戦前1ドルに対して一本化されておらず一説には二元とも、四円二十銭との説もあったらしいが、戦後1ドル三百六十円時代が長く続いていた。(昨今は円高の八十二~三円で推移しているが、当時、如何に国力が無く円安であったか。)

S. 24年当時、米国の支配下にあった日本の経済再建のため来日した米国のドッジ特使が為替相場の一本化を行い三百六十円と決めたい。では、どうして三百六十円としたのか?。当時、G. H. Q. が絶対の権限を持っていて、論議を重ねられ延々討議した結果、特使随行の某氏が「円とは丸ではないか。丸は360度だから360でいいではないか」と嘘のようだがホントの話らしい。これは、毎日新聞社発行の“雑学事典”に出ている。

インフレは上記授業料の様に進んだため、当時の福田内閣の頃だったか一時“デノミネーション(例えば、百円を新一円と呼称変更denomination)”を検討したが急激なインフレも一段落したのか、国民の理解(デバリュエーション平価切下げ devaluationと錯覚や誤解の懸念)が得られなかったのか、たち切れとなった経緯があった。{確か、一昨年であったか、北朝鮮でデノミに失敗して、経済が混乱した情報がテレビやラジオで流れていたのをご記憶の諸氏も多いのでは。}

話は戻ってインフレ。平成21年の夏、民主党が政権を取り、平成22年度の国家予算案は92兆円強。その内でなんと、税収が41兆円弱、新規国債発行額(借金)が44兆円超。国の借金が22年度末で973兆円になるらしい。973の下に0が12桁付く、¥973,000,000,000,000. と、すぐには読めない、とても面倒な桁数。今後情勢の過激な変化が起こった場合、現在の“兆”の次の単位は何なのか?。ご心配無用。誰が何時、何処で決めたのか兆の一万倍上には【京】がありその一万倍に【垓】があり、同じく各々一万倍毎に【秭】【穰】【溝】【澗】【正】【載】【極】【恒河沙】【阿僧祇】【那由多】【不可思議】【無量】【大数】と、どうやら仏典からきていっているらしいが、まさか、いくら超インフレがやってきても私たちが目の黒い間に、ここまで使うことは無いでしょう。



### 「吹奏楽部OB会」

第21期(昭26年卒) 青山 兼光

昨年10月30日(土)、上本町の中国料亭「杯杯天山閣」に於いて定例の吹奏楽部OB会(楽窓会)を開催した。

開会にあたって物故になられた方々に黙祷を捧げ、校歌を斉唱して懇親会に移った。

暫くは、各テーブルで昔話や近況などで談笑していたが、やがて順次ステージに立って近況や学生時代の思い出などを語る者、カラオケで自慢の喉を聞かせる者、隠し芸で笑わせる者、自慢のギターを生演奏で場を盛り上げる者など和やかな会は、アツという間に時間がたつて散会の時間が近づいた。

会を重ねるにつれ、参加者は若干の入れ替わりがあるものの固定されてきたように思います。積極的に一人でも多く参加して頂きたいとの声多く、会合の日程を固定して会員にアピールし、縦・横の連絡を取りながらより多くの参加者を得て会を盛り上げようと確認しました。

そこで、定例会の日程を「10月の最終土曜日」と決めさせて頂きましたので、次回にはぜひ、万障繰り合わせて参加して頂きたいと思っております。

次回は、平成23年10月29日(土)午後6時～上本町中国料亭「杯杯天山閣」で開催の予定です。

最後に学生歌を歌って参加諸氏の健康を祈念して散会しました。次回も元気な顔を見せて頂きますよう期待しています。



平成22年10月30日(土) 於 上本町「杯杯天山閣」

### 「若返る50年の懇親会」

第28期(昭33年卒) 宮田 悠紀雄

平成22年6月19日(土)16時一次集合(大阪商大正面玄関付近)、当日は梅雨真っ最中の蒸し暑く今にも雨が降りそうな天候で、参加者の数が減るのではないかと心配であったが、15時30分過ぎには一人、二人と集まり出した。校友会の田中事務局長にご無理をお願いして卒業52年後の校内を案内して戴く、「谷岡記念館の位置が変わってる」「学校の門柱も移動してる」のに驚き、「二宮金次郎がこんな所へ歩いて来とるやないか？」など思い思いに口ずさみながら現在の母校の発展に目を見張っていた。田中事務局長は最近の新しい“視聴覚

教室”や新しい学校の関連施設など熱心に案内するべくお考えのようであったが、私共の年齢が既に70歳を越しており、あちらこちらで「足が痛くなってきた」「年とったら腰いたなってきた」などの声上がり「先生この辺で有り難う御座いました」と高等学校の正門前で記念撮影を行い、二次集合の会場へ席を移す。

《二次会場=五十五万石》一次集合に間に合わなかった方もおいおい揃い、昨年よりも僅かに多いメンバーが集まる。校歌斉唱～恩師・同窓生へ物故者への黙祷



～校友会近況報告で次回の校友会への参加をお願いする～上原兄の乾杯により懇親会の始まり。場面は一転して賑やかな雰囲気になる。昨年参加できなかった人や今年新しく参加された人、それぞれ自慢話や健康談義にと花が咲く。急遽奥様の病気で出席できなかった方や自分たちの持病等、かなり年齢の関係で病気と健康に関する話題が大半のようであった。会場の盛りあがりには際限無いが昨年に引き続き遠路「浜松から参加の山田兄」にお開きの発声をお願いする。

(お断り)会場で一泊旅行の提案を戴きましたが、同窓生の住まいや健康の管理と持病をお持ちの方の対応を考えると支障も多く、クラス単位か親しい方の小グループで計画戴くようお願いし幹事としては現状のスタイルで計画したいと考えてますのでご了承下さい。

尚、平成23年も6月で計画致したく各自のスケジュールの中にご記憶下さい。 幹事一同



### 「卒業、半世紀超」

第29期(昭34年卒) 宮原 健

卒業以来半世紀で「古希」を迎えた。私たち第29期生は、昭和47年1月の第1回目から3～5年に一度の同期会を開催している。

一昨年、卒業50周年記念の第11回同期会を上本町のシェラトン都ホテル大阪に於いて開催した。当時の担任先生で安田・湯原両先生にご臨席いただいたの会で、本会の世話人代表の湯谷宋吾君が「会報第9号」に投稿した

会員寄稿文で紹介のとおりである。最近では、5 年に一度の割合で同期会を開いているが、今後は 3 年に一度との声多く、今回は 3 年後に開くことを確認しました。

次回の第 29 期生同期会は、平成 24 年 6 月 16 日(土)に開催する予定です。

毎回の同期会にあわせて世話人会を招集し打ち合わせ会を開催していますが、第 3 回同期会の世話人会(昭和 51 年 6 月)の打ち合わせの時、同期会は、3~5 年に一度との確認であったが、世話人会は出来れば毎年集まって旧交を温めたらとの意見が多く出され、世話人会を母体とする“新たな会”を発足させることになった。

会の名称は、私たちは、旧制から通算して第 29 期生にあたるが、新制高校からの通算では第 11 期生である(当時は、第 11 期生会と称していた。)ことから、「イレブン会」と称することになった。

第 1 回目のイレブン会は昭和 51 年 11 月 11 日に実施し、出来る限り毎年 11 月に開催することを確認。実施できなかった年もあったが、昨年 11 月に 32 回目の定例会を開催した。その間、一泊二日の宿泊で開催したのは 18 回に上っている。

第 32 回 イレブン会は、昨年 11 月 6 日(土)~7 日(日)に西宮市の「六甲保養荘」で実施した。夕方 4 時に集合し天然温泉で汗を流した後、恒例の総会で諸審議を行い、夕食では名物料理に舌づつみを打ちながら談笑やカラオケを楽しんだ。

気心の知れた仲間であるから、何の遠慮もなくもちろん利害関係のない楽しい至福のひと時を過ごすことが出来た。

翌朝、チェックアウトして、宝塚の「手塚治虫記念館」を見学し少年時代に夢中になって読んだ漫画本を懐かしんだ。次いで、「清荒神」を参拝して次回の再会を約して散会した。

会員は、最盛期には 30 名を越えていたが、多少の入れ替わりや残念ながら他界したメンバーもあり、現在は、22 名で活動している。

毎年 11 月第 1 土曜日~日曜日を例会としているが、大体の者が第一線を退き時間的に余裕が出てきたので、昼食会でもとの声が出ているので 6 月ごろに計画したいと思っている。

次回の定例会は、平成 23 年 11 月 5 日(土)~6 日(日)に計画している。

同期の方の中には、「そんな会で楽しんでいるならば自分も参加してみたい」とのご希望があればご連絡ください。



平成 23 年 11 月 5 日(土)~6 日(日) 於 西宮市 六甲保養荘

## 「仲間の大切さ」

第 52 期(昭 57 年卒) 眞鍋 政義  
全日本女子バレーボールチーム監督



眞鍋 政義 氏

大阪商業大学高等学校校友会が結成して 10 周年という輝かしい記念の年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。多くの事業を継続してこられた諸先輩方には、深い感謝の意を表する次第です。

三十余年前、私の商大高校での青春がはじまったことを今でも昨日のことにように思い出します。同時に、私の人生を懸けた「バレーボール」との戦いがはじまりました。入学した当初、バレーボール部の練習は私の想像をはるかに超えるほどの厳しさでした。日本一になるために苦しい練習であることは分かっているのですが諦めかけたこともありました。苦しくて八方塞がり状況の中で、手を差しのべてくれたのはチームメイトでした。この経験から「仲間の大切さ」を教えられました。

私自身、長年国内外を問わず様々なチームでバレーボールをしてきましたが、商大高校で苦しい練習に耐え抜いた仲間達は、一番誇れる仲間であったと自負しております。

私事ではございますが、2009 年より全日本女子バレーボールチームの監督を拝命しました。就任当時は、責任の重さや国民からの期待などのプレッシャーから指導者として自信を失いそうになることがありました。このときも私に救いの手を差し伸べてくれたのは商大高校のチームメイト達でした。就任してから一貫して選手に言っている事は、仲間を大切にすることです。もちろんこの考えは私が商大高校で学んだ経験から導かれたものです。

昨年の世界選手権では、32 年ぶりに日本女子バレーボールがメダルを獲得することができました。選手達は、「最高の仲間ととれたメダル」と言ってくれました。私が商大高校で学んだことを言い続けた結果であると信じております。このメダルは商大高校が取らせてくれたメダルと言っても過言ではないでしょう。

私の人生観や指導理念の礎を築いてくれた商大高校に感謝し、商大高校で学んだ「仲間の大切さ」を胸に今後も精進していきたいと思っております。

最後になりましたが、関係諸先生、校友会会員の皆様のご健康と、ご家族の繁栄を祈念致します。



平成 22 年 11 月 11 日(日) 於 新潟県 新潟県立総合体育館

### 平成22年度 校友会総会

### 平成21年度 校友会会計収支報告書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

平成22年5月22日(土) U・コミュニティホールに於いて平成22年度校友会総会を開催した。

会長よりの挨拶に引き続いて母校の校長先生よりお祝いの言葉を頂戴して総会が始まった。

総会の詳細は割愛するが、以下に平成21年度事業報告と会計収支決算報告書・改選された役員一覧表を掲載する。

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
前年度繰越金	7,116,074	総会費	69,390
会費	532,000	懇親会費用	160,000
懇親会会費	97,000	役員会費	48,480
同窓会活動賛助金	400,000	通信費	97,246
賛助広告料	236,000	印刷費	51,975
雑収入	22,974	交通費	0
		消耗品費	15,402
		雑費	3,307
		広報宣伝費	292,120
		諸集会費	40,000
		慶弔費	63,500
		育英奨学費	0
		クラブ活動補助	165,000
		学園祭補助	115,500
		予備費	0
収入の部合計	8,404,048	支出の部合計	1,121,920
単年度収入合計	1,287,974	単年度支出合計	1,121,920

### 平成21年度 事業報告

- 21. 4. 6(月) 母校第81回入学式に参列
- 4. 6(月) 第1回本部役員会 於 母校第2会議室
- 5. 23(土) 平成21年度総会・懇親会(拡大幹事会)  
第1部 総会 於 U・コミュニティホールM  
第2部 懇親会 於 U・コミュニティホールL
- 6. 2(火) 母校第81回体育祭に参列
- 10. 4(日) 母校第50回文化祭  
(インフルエンザ蔓延のため一般開放されず不参加)
- 11. 28(土) 第2回本部役員会 於 母校第1会議室
- 22. 2. 20(土) 母校第80回卒業証書授与式に参列
- 2. 20(土) 第3回本部役員会 於 母校生活指導室
- 3. 6(土) 第2回幹事会 於 母校視聴覚教室

収入総額 ¥8,404,048 - 支出総額 ¥1,121,920 = 次期繰越 ¥7,282,128

平成21年度の収支決算を監査の結果、財産状態 監査 笠 正 男  
ならびに運営状況を適正に表示しています。 湯 谷 宋 吾

平成22年5月8日

[印省略]

### 平成22年度改選 役員一覧表

(敬称略)

- |         |                         |                            |
|---------|-------------------------|----------------------------|
| 顧問      | 湯原 俊雄 (元校長 昭54.4~昭61.3) | 尼子 東吉 (前校長 平16.4~平20.3)    |
|         | 柴田 巖 (元校長 昭61.4~平4.3)   | 23(S28) 上原 洋允 (元大阪弁護士会会長)  |
|         | 久間田 博幸 (元校長 平4.4~平9.3)  | 12(S17) 安田 敏雄 (元日本弁理士会副会長) |
| 28(S33) | 中山 次郎 (元校長 平9.4~平12.3)  | 大塚 信一 (現校長 平20.4~ )        |
|         | 厚母 真一 (元校長 平12.4~平16.3) |                            |

役職	期(年)	氏名	期(年)	氏名	期(年)	氏名	期(年)	氏名
(本部役員)								
相談役	19(S24)	城野 榮治	21(S26)	青山 兼光	21(S26)	澤 邑 知 明	23(S28)	玉 置 修 三
会 長	23(S28)	岡田 誠一						
副 会 長	29(S34)	森田 賢二	29(S34)	宮原 健	31(S36)	大橋 貞弘	36(S41)	森田 宗弘
	38(S43)	藤原 昇	47(S52)	徳重 悟	48(S53)	五十川 精三	62(H4)	松尾 成彦
事務局長	38(S43)	田中 修						
書 記	60(H2)	坂口 洋平	74(H16)	松田 周				
会 計	28(S33)	赤部 功	63(H5)	田坂 隆司				
監 査	23(S28)	矢森 武昭	29(S34)	湯谷 宋吾				
常任幹事	20(S25)	大村 計治	22(S27)	沖田 義彦	24(S29)	安藤 修	26(S31)	河野 圭二
	26(S31)	木下 正幸	26(S31)	藤川 良純	28(S33)	宮田 悠紀雄	28(S33)	澤井 駒一
	29(S34)	坂本 保彦	31(S36)	石河 鴻一	32(S37)	井野 早雄	34(S39)	仲野 明
	37(S42)	矢津 武志	42(S47)	山口 弘	49(S54)	中井 司	56(S61)	酒井 淳
幹 事	9(S15)	梅野 迪	19(S24)	島田 勇一	19(S24)	田中 清	26(S31)	山下 正
	27(S32)	清水 英五郎	31(S36)	高橋 隆男	31(S36)	堀口 順延	33(S38)	岡本 勝彦
	33(S38)	鈴木 哲士	33(S38)	臼井 昭一	35(S40)	正井 康久	35(S40)	石田 修
	37(S42)	杉本 裕己	41(S46)	生駒 幸一	47(S52)	田口 富雄	49(S54)	山岡 真大
	53(S58)	清水 尚義	61(H3)	植田 恭啓	66(H8)	大橋 健弘	75(H17)	森安 義次
	76(H18)	大西 潤哉	79(H21)	小島 アヤ	79(H21)	高橋 尚起	80(H22)	大井 孟
	80(H22)	長石 智夏	80(H22)	中河 真菜	80(H22)	後藤 彰久		

平成22年度 校友会総会



特別寄稿

「アメリカ・カナダ修学旅行」

母校 第2学年主任 沖 美和

2学年の大きな行事である修学旅行、シアトル・バンクーバーの4泊6日の旅を無事終えることができました。長時間のフライトを経て降り立ったアメリカの地、入国審査の厳しさは事前に伝えてあったものの、いかめしい入国審査官を前に、どの生徒も緊張の面持ちで英語での質問になんとか答え、無事アメリカ入国。ホッとしたのもつかの間で、その数時間後には陸路でカナダの国境を通過するという第2の入国審査が待ちました。長時間のフライトの疲れと1日に2回も入国審査をするという緊張の中でのバンクーバーのホテル到着でした。

翌日はカナダの学校での交流会。これもまた緊張した中で、現地校のセレモニーで大歓迎を受け、バディと対面し、簡単な自己紹介の後、バディと共に授業に参加。まだこの時点では本校生徒はざこざない感じでバディと接していましたが、この後

の本校からの出し物である、四字熟語のプレゼンテーションと漢字のレッスンの頃には、和気あいあいと笑顔で漢字を教える生徒も出て来ました。ランチタイム、そして最後のダンスの頃にはみんな交流会を楽しんでいて、別れを惜しむシーンも。出発前は、交流会うまくいかなあと不安を抱えていた生徒達が大半でしたが、交流会後はその話題で大いに盛り上がり、最終日には「今日も学校に行きたい」という生徒まで出てきた程でした。

3日目はバンクーバー市内の自主研修です。UBC（ブリティッシュコロンビア大学）まで全員でバスで行った後、解散。班でチェックポイントを時間内に通過するという約束事のもと、自由散策。初めての土地、初めての公共機関にとまどい、時には道に迷ったりしながらも、班で助け合いな

から自主研修を十分満喫したようです。途中、現地の人々と触れ合う機会もたくさんあったようで、現地の人々の親切な対応に深く感動している生徒が多かったです。

4日目、再び陸路で国境を越え、シアトルへ。スターバックス1号店のあるパイクマーケットという市場の辺りの散策や、マリナーズの本拠地であるセーフコ球場を見学し、修学旅行の最後の行程を終えました。

陸路での国境通過、学校交流会、自主研修、この3つは、今回の修学旅行の目玉でもあったのですが、大変充実したものになったようです。

ただ単に、物見遊山的な修学旅行ではなく、自ら動き、体験する修学旅行ということ念頭に置いて立案・計画してきました。生徒達の感想文やアンケートの中には、現地の人々（生徒達や町の人たち）とのコミュニケーションのことが、また、クラスの生徒達とのコミュニケーションのことがたくさん書かれていて、人とのコミュニケーションの大切さを実感した修学旅行でもあったかと思えます。



バンクーバー 自主研修



交流会（漢字を教える文化交流）McMATH高校にて



パイクマーケット（シアトル）



セーフコ球場（シアトル）



交流会 McROBERTS高校にて

## 2010 年度 クラブ実績

### 硬式野球部 [昭和 4 年創部]

- 春季近畿地区大会大阪府予選 ベスト 8
- 全国高校野球選手権大阪大会 ベスト 16
- 秋季近畿地区大会大阪府予選 1 回戦

### バスケットボール部 [昭和 4 年創部]

- インターハイ予選 ベスト 4
- 大阪総体 ベスト 4
- 大阪高校バスケットボール新人大会 5 位
- ◆ 高嶋克希(2年) 国民体育大会強化育成選手

### 陸上競技部 [昭和 4 年創部]

- 大阪総体 200m 本選出場 戸田靖章(1年)
- 4×100mR 本選出場
- 北井貴大・野中竣介(2年) / 井津旭雄・戸田靖章(1年)
- 商業大会 200m 3位 戸田靖章(1年)

### 卓球部 [昭和 4 年創部]

- 大阪高等学校チャレンジカップ
- 【団体男子2部】 1位トーナメント 3 位
- 寺田壮志・柴田英希・溝垣孝始・松田航(2年)
- 柏原大樹・奥田迅輝(1年)

### 剣道部 [昭和 4 年創部]

- 大阪府新人大会
- 【団体の部】 ベスト 32
- ◆ 大野 匠(2年) 三段合格(大阪府剣道連盟主催昇段審査)

### 柔道部 [昭和 7 年創部]

- 大阪高校新人柔道大会
- 【団体の部】 ベスト 16
- 【個人の部】 池本龍治(2年) -60kg級 準優勝
- 全国選手権大阪府予選
- 池本龍治(2年) -60kg級 優勝
- 近畿大会
- 池本龍治(2年) -60kg級 ベスト 16
- 全国大会大阪予選
- 【団体の部】 ベスト 16
- 【個人の部】 池本龍治(2年) -60kg級 ベスト 8
- 田上 凜(3年) -66kg級 3 位
- 木下功貴(3年) -73kg級 ベスト 8
- 大阪総体
- 【団体の部】 ベスト 8

### 軟式野球部 [昭和 24 年創部]

- 春季近畿地区大会大阪府予選 2 回戦
- 全国高校野球選手権大阪大会 2 回戦
- 秋季近畿地区大会大阪府予選 3 位
- 大阪私学大会 ベスト 8

### ラグビー部 [昭和 32 年創部]

- 近畿大会大阪府予選 ベスト 4
- 全国大会大阪府予選

### サッカー部 [昭和 24 年創部]

- 大阪高校春季大会 2 回戦
- 全国高校サッカー選手権大阪大会 3 回戦
- 大阪高校新人サッカー大会 2 回戦
- 大阪 U-18 サッカーリーグ 2010 1部Bグループ 8 位
- 東大阪市民大会 準優勝
- 中河内サッカーリーグ 3 位

### バレーボール部 [昭和 30 年創部]

- ☆ 全国高校総合体育大会(インターハイ) ベスト 16
- ☆ 全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー) 1 回戦敗退
- 全国高校総合体育大会大阪府予選 準優勝
- 近畿高校バレーボール優勝大会 準優勝
- 大阪私学大会 優勝
- 全日本バレーボール高校選手権大会大阪府予選 準優勝
- 大阪高校新人大会 ベスト 4
- ◆ 富士本大生(3年) 第8回アジアユース選手権大会出場 (全日本ユース男子バレーボールチーム)
- ◆ 国民体育大会出場
- 高田紘史・千原伸之輔・植田聖哉・富士本大生(3年) ベスト 4

### ボクシング部 [昭和 48 年創部]

- 全国高校選手権大会大阪府予選
- 平尾圭多(3年) フライ級 準優勝
- 国民体育大会大阪府予選
- 平尾圭多(3年) フライ級 準優勝

### 硬式テニス部 [昭和 49 年創部]

- 大阪高校サマーテニストーナメント
- 【シングルス】 本選出場 坂本達也(2年)
- 【ダブルス】 本戦出場 坂本達也・西川穰ペア(2年)
- 第3学区テニストーナメント
- 【シングルス】 本選出場 坂本達也・西川穰(2年)
- 【ダブルス】 本戦出場 坂本達也・西川穰ペア(2年)
- 宮井翼・長田真也ペア(2年)

### ゴルフ部 [平成 19 年創部]

- ☆ 全国高校ゴルフ選手権(3年連続3回目出場)
- 【団体の部/男子】 22 位
- 【個人の部/男子】 前川竜聖・中村匠汰(3年)
- 宮内正人(2年) 武井北斗・山川修主(1年)
- 【個人の部/女子】 田畑里紗(1年)
- ☆ 日本ジュニアゴルフ選手権競技
- 【個人の部/男子】 宮内正人(2年) 決勝トーナメント出場
- 朝日新聞杯大阪府高等学校マッチプレー決勝
- 【男子】 宮内正人(2年) 4 位
- 【女子】 田畑里紗(1年) 優勝
- ◆ 国民体育大会出場 前川竜聖(3年) 山川修主(1年)
- ◆ 関西選抜(マレーシア出場) 宮内正人(2年)

### 囲碁・将棋部 [昭和 52 年創部]

- 近畿高校総合文化祭
- 【囲碁の部】 清水祐志(2年) 大阪府代表
- 田端勇氣(1年) 大阪府代表
- 【将棋の部】 出倉あさひ(1年) 大阪府代表 ベスト 8
- 全国高校竜王戦大阪府予選 出倉あさひ(1年) S級 準優勝

### 全国商業高等学校協会 簿記実務検定試験合格者一覧表

回数	実施日	1級総合	1級会計	1級原計	2級	3級	合計
67	平成21年1月25日	0	0	7	29	53	89
68	平成21年6月28日	0	3	9	8	0	20
69	平成22年1月24日	4	5	4	12	30	55
70	平成22年6月27日		2	6	22	0	30
71	平成23年1月23日		0	8	10	115	133

平成22年度 デザイン美術コース コンペ受賞一覧表

第22回 全日本デザイン・イラスト展	U. G. サトー賞 1名, 全国入選 5名, 地区敢闘賞 3名, 全学年 団体賞 優良高等学校賞 受賞
第1回 全国合板一枚作品コンペ	ジュニアの部 優秀賞 1名, ジュニアの部 特別賞 1名, ジュニアの部 審査委員会特別賞 1名
第3回 サブローごまコンテスト	発明協会賞 1名, サブロー賞 2名
大阪府 熱血献血キャンペーン	大阪府知事賞 1名, 優秀賞 1名, 入賞 1名
“世紀のダ・ヴィンチを探せ!” 高校生アートコンペティション 2010	キャラクター部門 入選 1名, イラスト部門 入選 2名, 一次通過 4名
エコアートフェスタ大阪 OSAKA 2010	ごみアート甲子園 準グランプリ 団体

第22期(昭27年卒) 校友会 常任幹事 <b>沖田 義彦</b> 東大阪市中小阪 1-3-8 TEL&FAX 06-6722-4901	第23期(昭28年卒) 校友会 監査 <b>矢森 武昭</b> 堺市南区新松尾台 3-3-3-104 TEL 072-299-5183	第28期(昭33年卒) 校友会 常任幹事 <b>澤井 駒一</b> 八尾市本町 6-14-8-4003 TEL&FAX 072-970-5540	第29期(昭34年卒) 校友会 副会長 <b>宮原 健</b> 大和郡山市矢田町 5895-34 TEL&FAX 0743-52-4100
--	---	--	---

第31期(昭36年卒) 曾我川緑地体操の会 リーダー <b>木村 正秀</b> 橿原市中曾司町 254-14 TEL 0744-35-4695 携帯 090-1528-1784	第38期(昭43年卒) 校友会 事務局長 <b>田中 修</b> 東大阪市石切町 2-8-25 TEL&FAX 072-987-9618	フアンニーカンパニー・ジャズ・オーケストラ <b>FUNNY COMPANY JAZZ orchestra</b> http://www.ioctv.zaq.ne.jp/happy/funny/ 各種パーティ・イベント... 小編成(5人)~大編成(18人)まで <b>藤原 昇</b> 〒595-0072 泉大津市松之浜町1-17-11 TEL 0725-33-3904 携帯 090-2198-5892 gts_jazz_nonchi@docomo.ne.jp 第38期(昭和43年卒)	第47期(昭52年卒) 校友会 副会長 <b>徳重 悟</b> 大阪市此花区春日出北 3-8-9 TEL 06-6464-6418
--	--	--	---

第48期(昭53年卒) 校友会 副会長(母校教諭) <b>五十川 精三</b> 大阪府南河内郡太子町山田 823-6 TEL 0721-98-0653	第49期(昭54年卒) 株式会社 壽精工 工場長 <b>中井 司</b> 東大阪市中野 1-19-24 TEL 072-967-1836	第52期(昭57年卒) バスケットボール部OB会会長 <b>佐竹 健司</b> 東大阪市吉田 7-8-3 TEL 072-964-7341	第66期(平8年卒) 創作菓子 SinSin 真心 オーナーシェフ <b>二階堂 洋平</b> 東大阪市長田西 2-7-32 OPEN 10時~19時 TEL06-7504-6406
---	--	---	---

<b>新テイコク薬業(株)</b> 取締役社長 <b>藤川 良純</b> 第26期 昭和31年卒業 〒577-0816 東大阪市友井 5-4-39 TEL 06-6722-2518	大阪・港 海遊館通り 喫茶 軽食 <b>ロマン</b> <b>矢津 武志</b> 第37期 昭和42年卒業 〒552-0021 大阪市港区築港 4-3-24 TEL&FAX 06-6571-1579	住まいの 総合商社  戸建住宅・注文住宅・建築・設計・施工 <b>大黒住建株式会社</b> <b>愛知 浩</b> 第54期 昭和59年卒業 大阪府羽曳野市野々上 2丁目11番3号 TEL(072)938-2551・FAX(072)938-2513	<b>植田 生花</b> 稽古用盛花・御流儀・家庭用盛花 各種アレンジ花・生込み 代表 <b>植田 恭啓</b> 第61期 平成3年卒業 〒581-0874 八尾市大竹 7-254 TEL(072)941-0841 FAX(072)941-0848
---	--	--	--

城商 15期生 (昭和20年卒業) <b>廣岡 保</b> 〒675-0115 兵庫県加古川市 平岡町一色 641-15 電話 (0794) 36-0069	営業品目 { ビニール生地 ビニールテープ ビニール製品・印刷 ポリシート・腕章 のぼりポール・スタンド 及 切断加工 <b>長堀化成製品株式会社</b> 代表取締役 <b>大橋 貞弘</b> 第31期 昭和36年卒業 萩野 充 第51期 昭和56年卒業 大橋 健弘 第66期 平成8年卒業 〒542-0082 大阪市中央区島之内 1-17-14 TEL(06)6252-6868(代) FAX(06)6243-2678	建築・リフォーム工事・木材・住設 ソーラ・床暖房・エクステリア・卸 <b>(株)藪田商店</b> 代表取締役 <b>堀口 順延</b> 第31期 昭和36年卒業 ☎630-0243 本店 奈良県生駒市俵口町 1135 TEL(0743)74-5005(代) FAX(0743)73-2896 http://www.yabuta.ne.jp	量のことなら 何でもご相談下さい! <b>吉川 豊店</b> <b>吉川 勝教</b> 第45期 昭和50年卒業 〒581-0853 八尾市楽音寺 3丁目 86番地 電話&FAX 0729(41)1270 自宅 0729(41)0621-0622 見積もり無料! フスマ取り扱い!
--	---	--	--

<b>丸三運輸倉庫株式会社</b> 代表取締役社長 <b>宮田 宏</b> 第30期 昭和35年卒業 本社 〒811-2114 福岡県糟屋郡須恵町上須恵 1408-1 新原工業団地内 TEL 092(957)0270(代) FAX 092(957)0271	本起り料理 串揚本 <b>稲葉</b> <b>稲葉 照夫</b> 第43期 昭和48年卒業 〒636-0153 本店 奈良県生駒郡斑鳩町龍田南 1丁目 2-18 TEL 0745(75)0606 FAX 0745(75)7878 〒636-0003 王寺店 奈良県北葛城郡王寺町久度 2丁目 2-1 しゃる東館 地下1F TEL & FAX 0745(31)5577
--	--

貸地・貸車庫 杉山文化教室  
書道・水墨画・詩吟道

### 杉山 瀧藏

第 11 期 昭和 16 年 12 月卒業

〒577-0015 東大阪市長田 2-17-11 電話 (06) 6784-1120

フジサンケイグループ  
フジサンケイビジネスアイ 直属  
・新聞・テレビ・ラジオ・広告全版

### 株式会社 日工企画

代表取締役 城野 栄治 第 19 期 昭和 24 年卒業

〒550-0024 大阪市西区境川 1-6-23-401  
TEL (06) 6584-7830 FAX (06) 6584-7831  
e-mail: e-sirono@nikkoukikaku.co.jp

### 創業80余年の実績



第23期 昭和28年 卒業

代表取締役会長 池本 繁喜

品質がメッセージ

池本刷子工業株式会社

本社：〒578-0934 東大阪市玉串町西1-3-27  
PHONE 072-964-2331 FAX 072-964-3363  
http://www.ikemoto-brush.co.jp  
東京営業所：〒103-0011 東京都中央区日本橋大塚馬町11-B  
PHONE 03-5623-3040 FAX 03-3664-5330

### 菓子食品問屋 モリタ

代表 森田 賢二

第 29 期 昭和 34 年卒業

〒577-0016 東大阪市長田西 1-3-10  
TEL (06) 6788-1667・FAX (06) 6788-4776

土木・建築・設計・施行

### KKK 木下建設株式会社

代表取締役 木下 正幸 第 26 期 昭和 31 年卒業  
木下 幸人 第 50 期 昭和 55 年卒業

本社 〒 564-0042  
吹田市穂波町 26 番 13 号  
TEL (06) 6380-1111(代)  
支店 〒566-0064  
摂津市鳥飼中 3 丁目 6 番 40 号  
TEL (0726) 54-9473

大連新元吉田室内用品有限公司  
株式会社 ヨシダ 寝装品製造販売  
株式会社 ヨシダ 福祉事業部

代表取締役 森田 宗弘  
第 36 期 昭和 41 年卒業

檀原営業所 檀原市西新堂町 100-2 番地  
エム福祉タクシー  
訪問介護センター(2970500803)  
TEL 0744-24-2967 FAX 0744-25-1285

奈良営業所 奈良市四条大路 4 丁目 1-81 三幸マンション 103  
エム福祉タクシー  
訪問介護センター(2970102642)  
TEL 0742-30-4619 FAX 0742-30-4620  
営業区域 奈良県全域

活の味  
鰻一筋

住吉うなぎ  
きち

増田 猛雄

第三十七期 (昭和四十二年卒)

〒五五八-〇〇三二

大阪市住吉区遠里小野五丁目二二-一八

あびこ道バス停南五〇米

電話 〇六 六六九五-一六〇四〇番

定休日 毎週水 木曜日連休

### 田坂会計事務所

所長 税理士 田坂 隆司  
第 63 期 平成 5 年卒業

〒550-0014  
大阪市西区北堀江 1-1-7  
四ツ橋日生ビル 707号

TEL 06 (6532) 8533 FAX 06 (6532) 8534  
URL http://www.tasaka-kaikei.com  
e-mail tasaka-kaikei@tkcnf.or.jp

# 安田岡本特許事務所

“新しいモノづくりへの挑戦”

特許権や商標権を始めとする知的財産権の保護・活用は、わが国産業活性化のための最も重要なファクターです。知的財産権は何も大企業だけのものではありません。むしろ中小企業、ベンチャー企業の皆様にとってこそ、この不況の中で“勝ち組”となるための必須条件です。

安田岡本特許事務所は、国内はもとより外国出願、さらに侵害訴訟を含む紛争解決においても長年の経験とノウハウを蓄積しており、常に皆様の良きビジネスパートナーであり続けたいと考えています。

特許・実用新案・意匠・商標等の知的財産に関するご相談がございましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

お陰様で同窓生の皆様方から多数のご相談を賜っております。

〔 所長 弁理士 安田 幹雄 〕

パートナー 弁理士 岡本 宜喜

弁理士 国立 久

弁理士 片桐 務

総員26名(弁理士含む)

12期・本校元教諭

会長 弁理士 安田 敏雄

— 会長略歴 —

昭和17年12月

昭和21年

昭和21年～35年

昭和32年

昭和53年

平成3年

平成9年

本校卒業(第12期)

官立大阪工業専門学校

(現大阪府立大学工学部)卒業

本校教諭(物理,化学,商品学)

弁理士登録

弁理士会(現日本弁理士会)副会長

黄綬褒章受章

勲五等双光旭日章受章

〒577-0066

大阪府東大阪市高井田本通 7-7-19 しょうり 昌利ビル7階・6階

地下鉄中央線「高井田」駅②号出口

JRおおさか東線「高井田中央」駅

} 西へ徒歩1分

TEL 06-6782-6917(代表)

FAX 06-6782-6900

E-mail: main@actelpat.com



本社(中央区森ノ宮)

FOR NEW NOW  
**OKADA**

本 社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-16-17

TEL 06(6942)-2651 FAX 06(6942)-2670

不動産プランナー

宅建免許 大阪府知事(5)40169号

株式会社 **岡田本社**

<http://www.okada-inc.co.jp>

代表取締役 岡田 誠一 (第23期 昭和28年卒業)

おかげさまで卒業生数22年間連続人販No.1

〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南1-4-38 0120-831024 高特科初心者講習センタードライバースクール

# 地域と歩む安全運転センター八戸ノ里ドライビングスクール



大阪府公安委員会指定

## ● 八戸ノ里ドライビングスクール

やえのさと



〒577-0034 東大阪市御厨南1-4-38 ☎0120-831024 取締役会長 谷岡 剛(第25期 昭和30年卒業)

### 酵素一筋 37 年 生命あるところに酵素あり

#### 商品のご紹介

- 商品名：酵素飲料「モルセラ デラックス」
- 名称：純植物性酵素飲料（清涼飲料水）
- 内容量：1,000ml
- 商品説明：旬の野菜・果物・穀物・野草・海草・樹液など、約 60 種類の原材料から特殊技術でエキスを抽出し、大切に熟成発酵させた手作り酵素飲料です。
- 販売者：株式会社 アリカ
- 生産国：日本
- お召し上がり方法：1日2～3回を目安に、原液のまま、または氷で割ってお召し上がりください。

酵素は自然の贈りもの。

## 株式会社 アリカ

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-14-8 天神センタービル 6F

赤部 功 第 28 期(昭和 33 年卒業)

☎ 0120-11-0204

24 時間受付(月曜～土曜 AM10:00～PM8:00)

※日曜夜間は留守番電話が承ります

FAX 0120-22-3782 [24 時間受付]

※送料は当社負担。

※商品はお申込み後 1 週間以内にお届けします。

※支払は代金引換、又は各種クレジットカード。(手数料無料)

※返品は未開封に限り 8 日以内。(返送料はお申込者負担)



発酵に生きた菌の働きを  
活かして抽出した酵素飲料  
です。体にやさしく、飲み  
やすいです。健康と美容を  
意識する方に、ぜひ飲んで  
ください。

酵素は自然の贈りもの。  
体にやさしく、飲み  
やすいです。健康と美容を  
意識する方に、ぜひ飲んで  
ください。

今ならキャンペーン実施中!

### 今ならキャンペーン実施中!

税込・全国送料無料



飲む美容液「酵素飲料」

## モルセラ デラックス

1本(1,000ml)

通常価格 9,790円

特別価格 9,450円



クレジットカード決済 8,505円

クレジットカード決済 7,560円

# 学 園 要 覧

## ● 学校法人 谷岡学園 理事長 谷岡 一郎

<b>大阪商業大学・大学院</b>  学長 谷岡 一郎	大学院／地域政策学研究科	地域経済政策専攻 経営革新専攻	(博士前期課程)(博士後期課程) (修士課程)
	経済学部 総合経営学部	経済学科 経営学科, 商学科, 公共経営学科	
	商経専攻科	商業専攻, 経済専攻	
	〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL 06-6781-0381 FAX 06-6781-8438		

<b>神戸芸術工科大学・大学院</b>  学長 齊木 崇人	大学院／芸術工学研究科	芸術工学専攻 総合デザイン専攻 総合アート専攻	(博士後期課程) (修士課程) (修士課程)
	先端芸術学部	メディア表現学科 造形表現学科	写真・CD専攻, 映画専攻, まんが・アニメーション専攻 造形美術専攻, 現代クラフト専攻
	デザイン学部	ビジュアルデザイン学科, ファッションデザイン学科 プロダクトデザイン学科, 環境・建築デザイン学科	
	〒651-2103 神戸市西区学園西町8-1-1 TEL 078-794-2112 FAX 078-794-5027		

<b>大阪女子短期大学</b>  学長 中野 長久	生活科学科	ライフ プロデュース専攻	7つの学びの系 ファッション, インテリア, 情報ビジネス, テーブルコーディネート, ユニバーサルデザイン, 雑貨ビジネス, 幼児デザイン
		食物栄養専攻	栄養士コース, 製菓コース
	保健科		
	幼児教育科		
〒583-0026 藤井寺市春日丘3-8-1 TEL 0729-55-0733 FAX 0729-55-5211			

<b>大阪商業大学高等学校</b>  校長 大塚 信一	全日制課程 普通科	グローバル商大コース, スポーツ専修コース, プログレス国英コース, プログレス理数コース, デザイン美術コース, 進学デベロップコース
	〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL 06-6781-3050 FAX 06-6781-8972	

<b>大阪商業大学堺高等学校</b>  校長 浅田 隆	全日制課程 普通科	特進エキスパートコース, 特進アドバンスコース, 進学グローバルコース, スポーツコース
	〒599-8261 堺市堀上町358 TEL 072-278-2252 FAX 072-279-8272	

<b>大阪女子短期大学高等学校</b>  校長 尼子 東吉	全日制課程 普通科	
	〒583-0026 藤井寺市春日丘3-8-1 TEL 0729-55-0718 FAX 0729-55-0748	

<b>大阪商業大学附属幼稚園</b> 園長 國久 美代子	〒577-0034 東大阪市御厨南1-2-39 TEL 06-6782-1600 FAX 06-6782-9093	
---------------------------------	---	--

## ● 学校法人 至学館 理事長 谷岡 郁子

<b>至学館大学・大学院・ 短期大学部</b>  学長 谷岡 郁子	大学院／健康科学研究科	健康科学専攻	修士課程
	健康科学部 人文学部	健康スポーツ科学科, 栄養科学科 児童学科, アジア文化学科	
	短期大学部	体育学科, 生活科学科	
	〒474-8651 大府市横根町名高山55 TEL 0562-46-1291 FAX 0562-44-1313		

<b>至学館高等学校</b>  校長 松本 吉男	全日制課程 普通科, 家政科, 商業科	
	〒461-0047 名古屋市中区大幸南2-1-10 TEL 052-723-0851 FAX 052-723-1744	

<b>至学館大学附属幼稚園</b> 園長 加藤 武治	〒474-0011 大府市横根町名高山55 TEL 0562-46-1294 FAX 0562-44-1377	
-------------------------------	---	--

■ 『 校友会活動賛助金 』 のお願い

本会の目的(会則第 3 条)を達成するためには、各種事業を計画・立案することになり、かなりの資金を必要とします。

毎年、総会開催に伴う諸経費、母校の周年事業の協賛や校友会の今後の活動のための資金として、皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」としてお願いしております。

今年も一口 ¥ 1, 0 0 0 (何口でも可)の温かいお志をお願いいたします。

送金方法：郵便振替 (別紙「払込取扱票」を利用)
口座番号：大阪 0 9 6 0 = 5 = 6 7 9 6 7
加入者名：大阪商業大学高等学校 校友会

■ 『 賛助広告掲載 』 のお願い (予約願います)

次号(第 11 号)に賛助広告掲載のご協力を !

- 広告サイズ：A 横 4.7cm x 縦 2.3cm ¥ 3,000
B. 4.7cm x 4.6cm ¥ 5,000
C. 4.7cm x 6.9cm ¥ 8,000
D. 9.5cm x 4.6cm ¥10,000
E. 9.5cm x 9.2cm ¥15,000
F. 9.5cm x 13.8cm ¥20,000
G. 19.0cm x 9.2cm ¥25,000
H. 19.0cm x 13.8cm ¥30,000

申込み締切：平成 2 4 年 3 月 1 0 日(土)
広告料は、次年度配布の「払込取扱票」にて振込みの上、原稿をお送りください。

原稿送付先：大阪商業大学高等学校 校友会 事務局
TEL 06-6781-3050 FAX 06-6781-8972
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10

会誌発行日：平成 2 4 年 4 月 1 6 日(月)

■ 『 役員 』 の要請

平成 22 年度に改選いたしました役員は、本誌 10 ページのとおりです。

積極的に役員として活動していただける方は、自薦・他薦を問わず、校友会事務局までお申し出下さい。特に、幹事は各期に最低一名はお願いしたいのですが、充分ではありません。

ぜひ、積極的にお申し出をお願いします。

役員 の 活動 内容

本部役員：年間 3 回の本部役員会と年間 2 回の幹事会に出席して、諸審議に参加していただきます。

幹 事：年間 2 回の幹事会の諸審議に参加し、総会に向けての準備と当日の役割をお願いします。

■ 『 校友会だより「校友会誌」の原稿募集 』

次号(第 11 号)に原稿投稿のご協力を !

校友会活動を充実させるために、校友会だより「校友会誌」を発刊しています。より充実した内容にするためには、皆様よりの投稿をお願いしています。

下記により原稿を募集していますので、ぜひ、投稿していただきますようお願いいたします。

原稿の内容：同期会・クラス会・クラブOB会 などの状況や感想文・短歌俳句など、どんな内容でも可。写真や資料の提供もお願いします。

提出の期限：平成 2 4 年 3 月 1 0 日(土)

原稿提出先：大阪商業大学高等学校 校友会 事務局
TEL 06-6781-3050 FAX 06-6781-8972
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10

会誌発行日：平成 2 4 年 4 月 1 6 日(月)

平成 2 2 年度

(敬称略・順不同)

賛助金・賛助広告協力者芳名

皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」および「賛助広告」としてお願いいたしましたところ、多数の皆様からご協力を賜り、ありがとうございました。

お蔭様で、賛助金・賛助広告を合わせまして約 700,000 円の浄財を拠出していただきました。深く感謝申し上げます。

芳名記載には、万全を期したつもりですが、記載漏れ等がありましたらご容赦を賜りますようお願い申し上げます。

賛助金・賛助広告 賛 助 告 白 賛 助 金

Table with 3 columns: 賛助金・賛助広告, 賛 助 告 白, 賛 助 金. Lists names and amounts for the 2022 fiscal year.

賛 助 金 賛 助 金 賛 助 金

Table with 3 columns: 賛 助 金, 賛 助 金, 賛 助 金. Lists names and amounts for the 2022 fiscal year.

数字は、期(卒業年)
S=昭和、H=平成

# 平成23年度 校友会総会

## 平成23年5月21日(土)

・ **総会** 於 大阪商業大学 ユニバーシティホール「蒼天」

**開会** 午後4時00分 (受付 午後3時30分)

- 議案**
- ① 平成22年度事業報告
  - ② 平成22年度決算報告
  - ③ 平成22年度監査報告
  - ④ 平成23年度役員追加
  - ⑤ 平成23年度事業計画
  - ⑥ 平成23年度予算審議
  - ⑦ その他

・ **懇親会** 於 大阪商業大学 4号館 1階「S-terrace」〈学生食堂〉

**開会** 午後5時30分 (受付 午後5時15分)

◎ 参加希望者は、5月6日(金)までに、

総会のみ参加者は、「返信用はがき」  
 総会・懇親会参加者は、「払込取扱票」 } にご記入のうえお申し込みください。

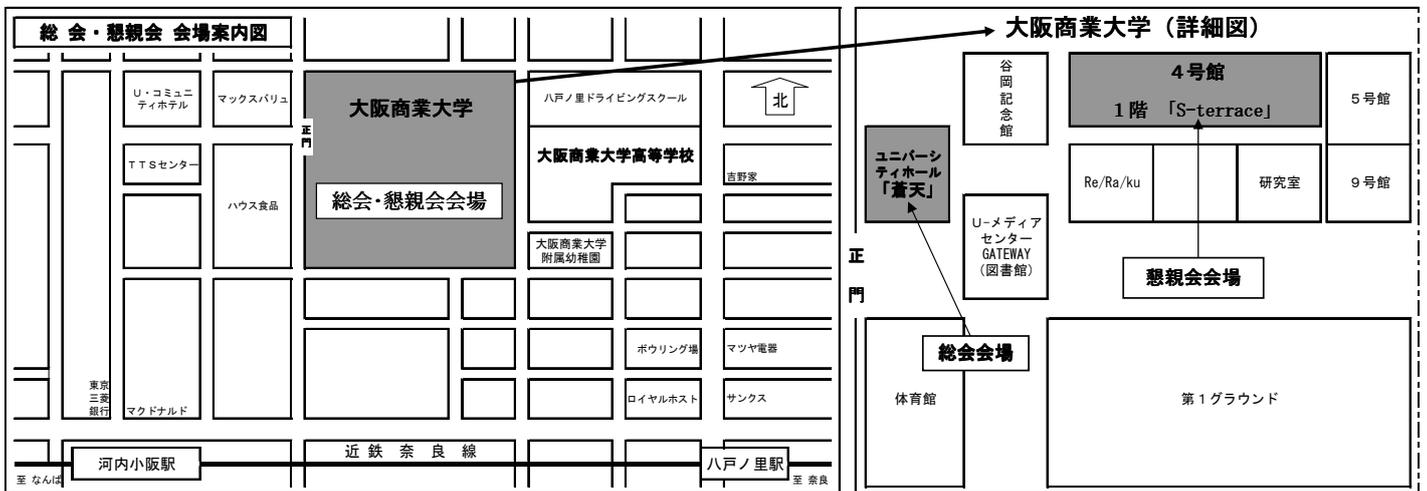
◎ 懇親会に参加希望者は、下記懇親会会費を、別紙「払込取扱票」で振り込みをお願いします。

【 総会のみ参加者は、不要です。 】

懇親会会費

特別会員(現・旧教職員)	招待
正会員	¥5,000
長寿会員(第1期～第23期)	¥2,000
新卒会員(平成20～23年3月卒)	招待

※ 総会当日、受付にて「払込金受領書」をお示しください。



平成13年5月、長年の懸案でありました同窓会の組織を整備して発足総会を開催し、本年度で満10年になりました。

今回は、従前の「校友会だより」と「校友会会報」をひとつにまとめ、改訂版「校友会だより」**「校友会誌」**としてリニューアルし、会員の皆様のご協力を得て第10号を発行いたしました。(校友会会報は、廃刊。)

今後も、会員の皆様よりの諸情報(同期会やクラブOB会など)を掲載するなど、多くの方々のご協力を得てより充実した「校友会誌」になるよう努力いたします。

よろしくご支援をお願いいたします。

### 編集後記

本誌の編集作業をしていた最中の3月11日、テレビの通常番組を中断して突如“緊急地震速報”が流れました。宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0という明治以降の観測史上で初めてとなる途方もない超大型の地震速報でした。

恐ろしい津波の大きな破壊力により根こそぎむしり取るような未曾有の被害状況や福島原発の重大事故を見るにつけ、地獄絵を見るような錯覚を覚え、夢であってほしいと思ったのは私だけでしょうか。

残念ながら、犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、一日も早い復興を祈念してやみません。(編集人)